

令和7年度

事業報告書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

<目 次>

『公益目的事業』	2
■ 京都コンサートホール	2
I 主催・共催事業	2
II 受託事業	8
■ 地域文化会館	16
I 主催事業	16
II 受託事業	22
■ ロームシアター京都	26
I 主催・共催事業	26
II 受託事業	32
■ 京都市交響楽団	37
I 主催・共催事業	37
II 京響友の会	41
III 受託事業	41
IV 外部資金の獲得	41
■ その他	
I 組織人員体制・配置等の最適化	43
II 働きやすい職場づくりの推進	44
III 人材育成・職員研修・内部監査	44
IV 環境への配慮	45
V ファンドレイジング及びICT環境整備による財務の合理化の推進	45
VI 中期経営計画及び京都市交響楽団ビジョンの進捗管理	45
VII 庶務報告	45
『収益事業』	49

令和7年度事業報告

当財団は京都コンサートホール、地域文化会館（5館）、ロームシアター京都の指定管理者として施設の運営に当たるとともに、京都市交響楽団の運営を行っております。

令和7年度は、京都コンサートホール、地域文化会館は5期目の指定管理期間（令和5年度から8年度）の3年度目を迎え、ロームシアター京都については、8年間（令和元年度から8年度）の指定管理者として後期期間の3年度を迎える年でありました。

各施設において、「中期経営計画2025」に基づき策定した、指定管理者申請において提案した取組を着実に推進し、京都の文化芸術の魅力を様々な方法により発信し、文化芸術による心豊かな社会に資する取組を進めてまいりました。

京都コンサートホールは開館30周年、ロームシアター京都はリニューアルオープンから10周年、京都市交響楽団は令和8年に創立70周年を迎えるプレ・イヤーとして、それぞれメモリアルイヤーを盛り上げる様々な周年事業を実施しました。

さらに、「中期経営計画2025」の計画期間が令和7年度までであることから、引き続き、中長期的な視点に立った財団経営を推進していくため、「中期経営計画2029」（計画期間 令和8年度～11年度）を策定しました。今後は、この計画に基づき事業を展開してまいります。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 主催・共催事業〔全48事業82公演9講座（うち延期1事業1公演）〕

令和7年度に開館30周年を迎えた京都コンサートホールでは、「みんなの笑顔と音楽が集まる、30年目のコンサートホール」を主催事業のテーマとして掲げ、多彩な事業を展開しました。

これまで培ってきた「クラシック音楽の殿堂」としての役割を基盤としつつ、鑑賞機会の充実に加え、地域や社会との接続を一層強化する事業を推進しました。特に、開館30周年記念事業を核として、世代や背景を問わず多様な人々が音楽を通じて集い、関わる機会の創出を図りました。

その結果、従来の鑑賞型事業にとどまらず、普及・社会包摂の観点を含めた事業展開により、音楽文化の新たな担い手や観客層との接点を広げることができました。

1 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進



当ホールを活動拠点とする京都市交響楽団のさらなる魅力発信を図るため、主催・共催公演を実施しました。

「第29回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」では、指揮に沼尻竜典を迎え、ホルスト《惑星》全曲およびエルガー《チェロ協奏曲》（独奏：上村文乃）によるオール英国プログラムを展開し、音楽祭の幕開けにふさわしい祝祭性の高い公演として開催しました。

また、開館30周年記念事業として実施した「京都コンサートホール×京都市交響楽団プロジェクト Vol.6」では、当ホールの象徴的資源であるパイプオルガンを活用し、広上淳一の指揮のもと、石丸由佳（オルガン）を迎えて、バーバー《祝典トッカータ》およびレスピーギ《ローマ三部作》を取り上げました。大ホールのパイプオルガンを活用した大編成プログラムにより、京都コンサートホールでしか実現できない公演を提示しました。

いずれの公演もチケットは完売し、多くの来場者に京都市交響楽団の魅力を発信する機会となりました。

さらに、京都市交響楽団メンバーによる室内楽活動の充実を図るため、「京都しんぷおにえった」「The BraString Kyoto」「京都ストリングス」の3公演を共催し、演奏活動の多様化と観客層の拡大に寄与しました。

2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供



シリーズ『北山クラシック倶楽部』では、ヴァイオリン・リサイタル、フルートとピアノのデュオ、ピアノ・リサイタル2公演の計4公演を開催し、京都にしながら世界水準の演奏に触れる機会を継続的に提供しました。



アンサンブルホールムラタでは、ピエール・ブーレーズ生誕100年を記念した「ブーレーズへのオマージュ」を企画・制作し、同作曲家のもとで研鑽を積んだ、ピアニストの永野英樹を招聘してその作品世界を紹介しました。また、「KCH的クラシック音楽のススメ Vol.6」では、日本を代表する金管奏者・打楽器奏者・ピアニスト計10名によるアンサンブルを編成し、作曲家 酒井格による委嘱作品の世界初演を行うなど、新たなレパートリーの創出にも取り組みました。両公演ともに開館30周年記念事業として開催しました。

さらに、世界的ピアニスト マルタ・アルゲリッチが客席で若手奏者の演奏を聴く「マルタ・エクト・・・マルタと聴く演奏会」を開催し、演奏者と聴衆が同じ空間で音楽体験を共有する新たな鑑賞のあり方を提示しました。

これらの事業を通じて、世界的なトップアーティストから次代を担う若手まで、多様な演奏機会を創出し、幅広い観客層に対して質の高い音楽芸術に触れる機会を提供しました。

3 日本有数のパイプオルガンの活用

ヨハネス・クライス社製パイプオルガンの魅力を発信する「オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ」を実施しました。

日本を代表するオルガニスト松居直美を招き、「J.S.バッハに至る道」と題した公演を開催し、パイプオルガン音楽の根幹であるバッハ作品の魅力を改めて提示しました。

また、スイス出身のオルガニスト、イヴ・レヒシュタイナーを招聘し、自身の編曲によるベルリオーズ《幻想交響曲》を取り上げるなど、オルガンの新たな可能性を示す意欲的なプログラムを展開しました。

これらの公演を通じて、伝統的レパートリーの深化とともに、編曲作品による表現の拡張を提示し、パイプオルガンの多様な魅力を発信しました。



4 ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援

創立20周年を迎えた京都市ジュニアオーケストラは、これまでの活動の集大成として、記念演奏会を開催しました。本公演では、下野竜也、大友直人、広上淳一の3名の指揮者を迎えるとともに、国内外で活躍する卒団生4名をソリストとして招き、世代を超えた音楽活動の継続と成果を示しました。



令和6年度に京都市ジュニアオーケストラとして初めて取り組んだクラウドファンディングの成功を受け、石川県ジュニアオーケストラとの合同演奏会を実施するとともに、ジュニアオーケストラの室内楽メンバーによる能登半島珠洲市での訪問コンサートを実現し、被災地における音楽活動を通じた交流の機会を創出しました。



関西の音楽大学8大学が参加する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」では、初めて海外指揮者のユベール・スダーンを招聘し、ブラームスおよびチャイコフスキーの交響曲第4番といった大曲に取り組むことで、学生に対して高度な演奏機会を提供しました。

これらの取組により、次代を担う音楽家の育成にとどまらず、地域や社会と関わる実践的な活動の場を広げました。

5 子どもや青少年の創造性を育む事業

開館30周年記念事業の一つ「きょうと・キッズ・フェスタ」では、京都市交響楽団による演奏に加え、NHK『おかあさんといっしょ』うたのおねえさんを務めた小野あつこ、サクソフォーン奏者 上野耕平を迎え、0歳から入場可能なオーケストラ・コンサートを開催しました。チケットは完売し、多くの子ども連れの来場者で賑わいました。また、同日に楽器体験やワークショップ等の関連イベントを館内各所で実施し、ホール全体で音楽に親しむ機会を創出しました。



幼児を対象とした体験型事業「ポジティブオルガン体験講座」では、パイプオルガンの仕組みや音の響きを体感する機会を創出するとともに、音楽に初めて触れる層に対して、楽しみながら学ぶ導入的なプログラムを展開しました。



また、「Join us (ジョイ・ナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～」では、第3期登録アーティストによるアウトリーチ活動を市内の教育機関や福祉施設等で展開し、生演奏に触れる機会の少ない層へ継続的に音楽を届けました。さらに、登録アーティスト2名によるリサイタルを開催し、活動の成果を広く発信しました。

主催公演と連動した教育普及活動として、「KCH的クラシック音楽のススメ Vol.6」に出演した金管奏者によるクリニックを市内の中高生を対象に実施しました。加えて、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の来日にあわせ、同団の首席奏者によるマスタークラスを市内音楽高校において開催し、世界水準の演奏に直接触れる機会を提供しました。

これらの取組により、音楽への興味関心の喚起から専門的な学びに至るまで、段階的な育成機会の充実を図りました。

6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催



開館30周年記念事業として、「Kyoto Music Caravan 2025」を実施し、市内の名所や観光地9か所（北野天満宮、二条城、金戒光明寺等）において、京都ゆかりの音楽家による無料コンサートを開催しました。「まちじゅうをクラシック音楽で満たす」ことをコンセプトに、ホール外へ音楽の場を広げ、市民や観光客が日常の中で音楽に触れる機会を創出しました。

また、ファイナルコンサートとして、主催事業としては初となるバリアフリーコンサートを開催し、障がいのある方および介添者300名を招待するとともに、0歳から入場可能な公演として、誰もが共に音楽を楽しむ場を実現しました。

さらに、平日午前で開催するランチタイム・コンサート「京都北山マチネ・シリーズ」では、ピアノ、トランペット、ヴァイオリン、木管五重奏とピアノによるアンサンブルなど多彩な4公演を実施し、国内で活躍する演奏家の魅力を身近に楽しめる機会を提供しました。

加えて、公募により出演者を決定する「リレーコンサート」では、中学生から社会人まで多様な背景を持つアマチュア演奏家が出演し、市民参加による音楽活動の場を創出しました。

これらの取組により、ホール内外を通じた音楽活動の展開と、市民参加による文化創造の機会の充実を図りました。



7 賑わい事業の開催



ホール空間の活用による賑わい創出として、「ロビーコンサート」を実施し、ヴァイオリン独奏、古楽器、ファゴットとマリンバのデュオによる3公演を開催しました。来場者が気軽に音楽に触れられる機会として、多様な編成による演奏を提供しました。

また、「ニューイ・ブランシュKYOTO」に参加し、「想像×創造 Imagination × Creation」と題した公演を開催しました。同イベントのテーマである「アーティスト・イン・レジデンス」に沿い、独自のプログラムを展開することで、音楽と都市文化の新たな接点を創出しました。

さらに、ホール1階カフェにおいては、館長 鷲田清一によるトークイベント「音とことばと。」を開催し、京都市交響楽団常任指揮者 沖澤のどかをはじめとする多分野のゲストとともに、音と言葉の関係性をテーマとした対話の場を創出しました。また、カフェの運営事業者である前田珈琲の協力のもと、店内にブックコーナーを設け、「音とことばと出会う場所」をコンセプトに、館長の著書や出版社寄贈の書籍を並べるなど、更なる賑わいの創出にも取り組みました。

加えて、「北山あおいフェスティバル」と連携し、地域の学生および団体による「北山あおい茶会」を開催するなど、地域と協働した文化活動を展開しました。

さらに、京都コンサートホールの建築的価値を活かした魅力の発信として、ホール見学ツアー「建築家・磯崎新の弟子と巡る 京都コンサートホール館内さんぽ」の実施、「京都モダン建築祭2025」に参画するなど、これらの取組により、ホール内外における賑わいの創出とともに、京都コンサートホールの認知向上およびブランド価値の発信を図りました。



京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事 業 数	35 事業	44 事業	37 事業	48 事業
公 演 数	42 公演	51 公演	42 公演	82 公演
講 座 数	4 講座	7 講座	7 講座	9 講座

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は中止1事業1公演。

8 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会など10事業を支援しました。

京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度による支援実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
京都大学交響楽団 第217回定期演奏会	6月17日（火） 大ホール	京都大学交響楽団
京都大学音楽研究会 第140回定期演奏会	12月4日（木） アンサンブルホール ムラタ	京都大学音楽研究会器楽部
立命館大学マンドリンクラブ 第61回定期演奏会	12月12日（金） アンサンブルホール ムラタ	立命館大学 マンドリンクラブ
同志社女子中高管弦楽クラブ 第37回定期演奏会	12月24日（水） 大ホール	同志社女子中高 管弦楽クラブ
同志社女子中学校・高等学校マンドリンクラブ 第56回定期演奏会	令和8年1月20日（火） 大ホール	同志社女子中学校・高等学校 マンドリンクラブ
大谷中学高等学校吹奏楽部 第62回定期演奏会	3月25日（水） 大ホール	大谷中学高等学校 吹奏楽部
京都市立上京中学校吹奏楽部 第42回定期演奏会	3月26日（木） 大ホール	京都市立上京中学校 吹奏楽部
京都精華学園高等学校吹奏楽部 第39回定期演奏会	3月27日（金） 大ホール	京都精華学園高等学校 吹奏楽部
第42回京都女子中学高等学校 オーケストラ部 定期演奏会	3月30日（月） 大ホール	京都女子中学高等学校 オーケストラ部
京都女子中学校・高等学校コーラス部 第28回定期演奏会	3月31日（火） アンサンブルホール ムラタ	京都女子中学校・高等学校 コーラス部

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにおいては、「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を果たすとともに、音楽とのすばらしい出会いを創出し、市民の芸術文化振興の拠点となるよう、利用者ニーズの把握を積極的に行うなど利用の促進に努めました。

また、リピーター確保に向けた取組として、施設で働く従事者に利用者アンケートの結果をフィードバックし、利用者からの評価・ご意見等を共有・改善に向けた協議をすることで、顧客満足度の向上に努めました。

実績1 利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	230,000 千円	237,456 千円	237,995 千円	247,495 千円	256,455 千円
ホ ー ル 料 金	215,182 千円	211,856 千円	202,873 千円	228,317 千円	251,371 千円
駐 車 場 利 用	17,956 千円	14,604 千円	15,776 千円	16,752 千円	16,313 千円
実績値（合計）	233,138 千円	226,460 千円	218,649 千円	245,069 千円	267,684 千円
目 標 達 成 度	101.4 %	95.4 %	91.9 %	99.0 %	104.4 %

実績2 入場者数

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	325,000 名	296,000 名	296,000 名	296,000 名	296,000 名
実 績 値	295,466 名	200,135 名	241,075 名	260,290 名	261,338 名
目 標 達 成 度	90.9 %	67.6 %	81.4 %	87.9 %	88.3 %

実績3 日数利用率

大ホール

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	70 %	69 %	71 %	69 %	69%
実 績 値	69 %	73 %	68 %	80 %	81%
目 標 達 成 度	98.6 %	105.8 %	95.8 %	115.9 %	117.4%

アンサンブルホールムラタ

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	58 %	61 %	62 %	61 %	61%
実 績 値	61 %	62 %	62 %	60 %	58%
目 標 達 成 度	105.1 %	101.6 %	100 %	98.4 %	95.1%

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上会議（CS会議）の推進

CS会議やホールレセプションист会議を毎月開催し、施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS会議においては、施設で働く各部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待に応える接客・応対について協議してまいりました。

また、さらなるご意見を収集するために、ホワイエやバックヤードに設置したQRコードから回答できるWEBアンケートでは、147件のご意見をいただき、特にご意見の多かった大ホール内の案内表示を見直し、サービス向上ならびに改善に繋げることができました。

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置

「理事長への手紙」を引き続き実施するとともに、施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため、アンケート調査を行い、貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また、京都コンサートホール・ロームシアター京都の施設をご利用いただいた皆様には、後日、アンケートを兼ねたお礼状（サンキューレター）を送付し、リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項 目	京 都 コンサート ホ ー ル	東 部 文 化 会 館	呉 竹 文 化 セ ン タ ー	西 文 化 会 館 ウエスティ	北 文 化 会 館	右 京 ふれあい 文化会館	ロ ー ム シアター 京 都
案 内 表 示	83%	78%	91%	93%	70%	82%	44%
応 対 の 仕 方	85%	75%	92%	96%	82%	74%	75%
身 だ し な み	88%	75%	93%	95%	83%	75%	77%
態 度	86%	79%	95%	93%	82%	77%	78%
言 葉 づ か い	86%	80%	97%	94%	86%	81%	77%
説 明 の 仕 方	87%	75%	95%	95%	83%	79%	73%
整 理 ・ 整 頓	87%	81%	97%	94%	79%	79%	61%

（３）京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでもいただくために、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や客席内にて鑑賞マナー向上を啓発するパネルをレセプションистにより掲示する等して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるよう、より良い環境づくりに努めました。

（４）施設管理体制の更なる強化

京都コンサートホールは開館から30年が経過したことで、施設・設備の経年劣化が進んでいるため、京都市との指定管理契約に基づき、安全面や利用者の快適性を視野に入れた施設等の修繕に取り組みつつ、職員のみならず京都コンサートホールで働くすべてのスタッフの危機管理意識の更なる向上を目的として、「防火・防災訓練」も行いました。

また、大規模改修へ向けて、京都市に対し引き続き計画的対応を提案してまいりました。

主な修繕事例（財団実施分）

修 繕 内 容
ホール客席座面修繕
ピロティ側溝機能回復修繕
ピアノベンチ椅子修繕
ピロティ磁器タイル・点字ブロック修繕
ホワイエ遮熱対策修繕
小ホールホワイエウォータークーラー修繕

（５）視察・見学等への対応

行政・自治体、教育機関、他劇場関係者など、令和７年度は４件の視察・見学を受け入れました。施設や事業内容の紹介を通じて、当ホールの取組の発信と関係機関との新たな接点づくりの機会となりました。また、京都市内の中学生による職場体験活動「生き方探求・チャレンジ体験」（京都市教育委員会）等を通じ、文化芸術の創作現場や、それらを支えるホールの仕事を体験し、理解を深める機会を提供しました。

３ 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

（１）自主事業ラインアップ・リーフレットの発行

年間の主催事業ラインアップを事業のシリーズ毎に分類して紹介するレイアウトで構成し、発行しました。

（２）催物カレンダーの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業や、京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載したコンサートガイドを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



ア 主催事業ラインアップ・リーフレット

イ 催物カレンダー

(3) ホームページ等の充実

WEBアクセシビリティ向上のため、共通メニューの改修、トップページの公演カレンダーのデザインの刷新など、お客様が目的の公演チケットをスムーズに購入出来るように、購入画面への遷移を的確にする改修を行いました。

そのほか、料金シミュレーション機能を活用し、初めてホールを利用しようとするお客様にも利用料金がイメージしやすいよう工夫するなど、貸館利用の促進に努めました。

また、インターネットの利点を最大限に活かし、常に新鮮な情報を発信するため、Facebook、X（旧Twitter）、Instagram、公式ブログやYouTubeの公式アカウントから効果的な情報提供を行いました。

(4) 電子チケットの運用及び利便性向上への取組

京都コンサートホールとロームシアター京都で開催する催しのチケットが相互の窓口で購入できるサービスや、インターネットからのチケット購入において各施設の窓口での引き取りを可能にするなど、チケット票券管理システムを効果的に運用しつつ、電子チケットやチケットカウンターにおけるキャッシュレス決済の運用により、引き続き、お客様の利便性の向上を図りました。

(5) セット券の販売

京都コンサートホールでは、アンサンブルホールムラタで世界のトップクラスの室内楽を鑑賞する「北山クラシック倶楽部」において、100枚限定で5公演のセット券を販売しました。

(6) 学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

京都コンサートホールの主催事業において、学生割引、シニア割引、障がいのある方割引に加え、30歳以下の方に向けたU-30券の販売を実施し、学生、高齢者、障がいのある方等、誰もが音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

(7) ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく、他のジャンルにも間口を広げ、多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、平日のホール利用率向上に貢献しました。

京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事 業 数	9 事業	5 事業	3 事業	4 事業

京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事業名	事業日	主催者
Monica Salmaso & Andre Mehmari Japan Tour in kyoto	6月12日（木） アンサンブルホールムラタ	FRUE合同会社
Medeski & Martin Japan Tour in Kyoto	6月18日（木） アンサンブルホールムラタ	FRUE合同会社
第33回シネマ・コンサートの会 オペラ映画「ばらの騎士」上映会	9月19日（金） アンサンブルホールムラタ	シネマ ソラ
ウクライナ国立歌劇場管弦楽団・合 唱団「第九&運命」	令和8年1月15日（木） 大ホール	株式会社オトノワ

（８）開館３０周年記念の取組

北山エリアにおける記念フラッグの掲出や館内外でのサイン展開、地下鉄四条駅デジタルサイネージでの映像放映など、多様な媒体を活用した広報を実施したほか、京都出身のイラストレーターChocomooとのコラボレーショングッズの制作・販売や、記念誌『超楽器』の刊行等を行い、３０周年の機運醸成と発信強化に取り組みました。

取組内容
３０周年記念演奏会の実施
３０周年記念グッズの制作・販売
ホームページに３０周年記念ページ・アーカイブページの制作
３０周年記念誌の制作・販売
館内・屋外３０周年装飾の実施

３０周年記念グッズ（抜粋）



３０周年記念誌



（９）外部資金の獲得

自主事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛金の獲得に努めました。

主な助成金獲得

助成元	事業名
(公財) ローム ミュージック ファンデーション	京都市ジュニアオーケストラ 創立20周年記念コンサート
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (独) 日本芸術文化振興会	京都北山マチネ・シリーズ ほか

主な協賛金獲得

協賛元	事業名
オムロン (株)	オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ
ローム (株)	第29回 京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート
村田機械 (株)	北山クラシック倶楽部2025
京都商工会議所女性会	京都市ジュニアオーケストラ 創立20周年記念コンサート
医療法人財団今井会足立病院	きょうと・キッズ・フェスタ (0歳から楽しめるオーケストラ・コンサート)
洛和会音羽病院	Kyoto Music Caravan 2025

(10) 京都コンサートホール スペシャルスポンサー制度

京都の文化芸術のさらなる発展と、その力を活用した地域社会づくりの充実のために設けたスポンサー制度を通じて、企業の皆さまにご支援を賜りました。

京都コンサートホール スペシャルスポンサー制度 令和7年度獲得実績

区 分	獲得件数	金 額
プ ラ チ ナ	1 件	200 万円
ゴ ー ル ド	2 件	200 万円
シ ル バ ー	5 件	250 万円
ブ ロ ン ズ	40 件	410 万円
合 計	48 件	1,060 万円

※収入は翌年度 (令和8年度収入)

※令和5年度は20件・600万円、令和6年度は38件・1,010万円獲得

4 各種会員制度の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに、会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開や会員限定イベントを開催するなど、各会員制度を有機的に活用し、新規会員の獲得に努めました。

た。また、郵送料の値上げ等のコスト増に対して収支構造の見直しを図るために年会費を2,000円に改定しました。

さらに、オンライン会員の「フレンズ会員」（ロームシアター京都との共通会員）については、メールマガジンで先行発売の情報などを配信し、会員数の維持・拡大を図りました。

各種会員数の推移

会 員 制 度	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
京都コンサートホール・ロームシアター京都 Club	2,897 名	3,003 名	3,486 名	3,768 名	4,242 名
京響友の会 チケット会員	—	1,305 口	1,291 口	1,383 口	1,630 口
京響友の会 スポンサー会員	—	12 社	19 社	14 社	14 社

フレンズ会員登録数

年 度	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新 規 登 録 数	7,857 名	9,475 名	8,831 名	10,215 名	11,231 名
累 計 登 録 数	50,898 名	70,211 名	79,686 名	98,732 名	74,979 名

※令和7年4月1日に直近3年間チケット購入のない会員（34,984人）の退会処理を実施

（２）賛助会員制度の運営

京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の一層の充実を図るため、年間を通じた支援を受けるべく、賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）を設けています。

ご支援の輪をさらに広げるため、令和7年度から制度を充実しました。従来の寄付型「寄付で応援！コース」に加え、チケット割引や招待等の特典を備えたコース「鑑賞で応援！コース」を新設するとともに、若い世代に舞台芸術を支える大切さを知っていただくため「U29コース」（ロームシアター京都のみ）を設けました。

会員には、会報の送付やチケットの先行予約のほか、事業報告会やポストパフォーマンストーク、海外招聘オーケストラのメンバーによる学生向け公開レッスンなどにご参加いただき、事業内容への理解を深めていただくことで継続的な支援につながるよう取り組みました。

また、ホールのファンを増やすために会員限定（京都コンサートホール・ロームシアター京都Club、京響友の会会員含む）で開催した「石井琢磨×高木竜馬 デュオ・コンサート in 京都コンサートホール」では、新たに入会した会員も多数おり、ファン層拡大に向けた有意義な機会となりました。

なお、会員からいただいた寄付金については、京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の事業費に充当しました。

サポーター・パートナー会員数と寄付金

会員区分	種類	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
スペシャルサポーター (法人)	寄付	1 件 50 万円	2 件 100 万円	1 件 50 万円	1 件 50 万円	1 件 50 万円
	鑑賞	— —	— —	— —	— —	0 件 0 万円
サポーター (法人)	寄付	31 件 340 万円	17 件 180 万円	20 件 210 万円	24 件 210 万円	18 件 190 万円
	鑑賞	— —	— —	— —	— —	4 件 50 万円
スペシャルパートナー (個人)	寄付	32 件 162 万円	16 件 103 万円	23 件 105 万円	25 件 118 万円	19 件 85 万円
	鑑賞	— —	— —	— —	— —	9 件 46 万円
パートナー (個人)	寄付	45 件 90 万円	50 件 100 万円	45 件 90 万円	42 件 65 万円	33 件 66 万円
	鑑賞	— —	— —	— —	— —	34 件 68 万円
U29コース (個人)		— —	— —	— —	— —	6 件 2 万円
少 額 寄 付		— —	— —	1 件 1 万円	— —	— —
合 計		109 件 642 万円	85 件 483 万円	90 件 456 万円	92 件 443 万円	124 件 557 万円

※令和 7 年度より制度見直し

5 施設運営の充実に向けた取組

京都コンサートホールの中長期的なホール運営や事業について助言をいただくことを目的として、文化芸術分野に加え、広報や経営、教育、行政、観光などの専門家による外部委員で構成された「京都コンサートホール運営協議会」を実施しました。協議会では、「北山エリアの活性化に向けたホールの魅力向上の取組」、「ホールの今後の方向性」についての助言をいただき、ホール運営の充実に向けた検討を行いました。

また、北山エリアの各施設等が相互理解を促進し、より効果的に連携を行うことで、北山エリアの更なる活性化につなげることを目的として、「北山エリア施設長等意見交換会」を開催し、北山の各施設等の長が意見交換を行いました。

■ 地域文化会館

(東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、北文化会館、右京ふれあい文化会館)

I 主催事業〔全45事業54公演16講座〕

地域文化会館はそれぞれの地域における文化芸術振興のハブとなる拠点であり、地域の様々な文化芸術活動の受け皿となる施設であります。

それぞれの地域の実情や市民のニーズに応じて、それらの活動に対する支援や、情報発信を行うことで、誰もが気軽に文化芸術を親しめる環境を整えています。

地域文化会館が有するコーディネート力により、地域の文化芸術・伝統芸能の情報収集や発信等を行い、地域との関わりを強化し、地域文化会館が地域の中心となって、文化芸術に根ざした心豊かなくらしを実感できるような取組を推進しました。

1 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では、以下の5つの視点を重視した文化事業を実施しました。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 地域における文化芸術普及事業
- ③ 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
- ④ 住民の文化芸術活動への支援型事業
- ⑤ 施設間の交流事業

(1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業



地域の文化芸術の活性化を図るため、各地域文化会館ではパートナーシップ団体と協働で、鑑賞型の「無料公演」に加え、地域の子どもたちを対象とした育成型プログラムである「教育プログラム」、地域の18歳以上を対象とした体験会やミニコンサートなどを行う「おとなプログラム」を実施しました。

呉竹文化センターでは、京・伏見音楽サークル和音が0歳児から大人までを対象にし

た無料公演「和音 はるのおんがくかい」、西文化会館ウエスティでは、特定非営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団が18歳以上を対象としたおとなプログラム「懐かしのメロディに酔いしれる時」を開催し、それぞれ多くの方にご来場いただきました。また、北文化会館では、合唱団「葡萄の樹」が地域の小中高校生及び教員を対象に、合唱の基礎を学ぶ教育プログラム「合唱のイントロダクション」を開催し、合唱の基礎となるハンドサインやハーモニーを楽しく学んでいただきました。

パートナーシップ団体

会 館 名	団 体 名
東 部 文 化 会 館	京都橘大学吹奏楽部
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	京・伏見音楽サークル和音
西文化会館ウエスティ	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
北 文 化 会 館	合唱団「葡萄の樹」
右京ふれあい文化会館	吹奏楽団「雅」

※ 文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体（パートナーシップ団体）と地域文化会館が、協働して地域の文化芸術を活性化することを目的とし、魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」、未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年1回以上開催することを条件に、拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合、通常料金の2割で利用することができるほか、文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

（２）地域における文化芸術普及事業

ア 音楽芸術文化の紹介

音楽芸術を広く市民に紹介し、文化芸術の振興を図ることを目的に、北文化会館では、日本を舞台に活躍するプロの演奏家による公演「青木カレン with ジェイコブ・コーラープレミアムライブ」を開催しました。



イ 伝統的芸術文化の紹介



現代に受け継がれる伝統芸能等を紹介する場を設け、広く発信することで、保存・活動団体等の活動支援を行い、市民が伝統芸能等への理解を深める機会とするため、公演及びワークショップを開催しました。右京ふれあい文化会館では、子どもたちが日本の伝統芸能に触れ、体験する機会として小学生を対象に雅楽体験会「みんなワクワク！雅楽の世界へ」を開催し、呉竹文化センターでは、プロの囃家による質の高い伝統芸能「納涼くれたけ寄席」、西文化会館ウエスティでは、わかりやすい解説とワークショップを交えた伝統芸能シリーズ「地域 みんなの狂言鑑賞会」をそれぞれ開催しました。

伝統芸能公演ラインナップ

会 館 名	タイトル	内 容
右京ふれあい文化会館	伝統芸能事業「みんなワクワク！雅楽の世界へ」	小学生を対象とした雅楽の体験会（ワークショップ）を開催
呉竹文化センター	伝統芸能「納涼くれたけ寄席」	月亭遊真、桂三幸、林家染雀、笑福亭松喬による4席の落語を披露
西文化会館ウエスティ	伝統芸能シリーズ「地域みんなの狂言鑑賞会」	小学生を対象とした狂言の解説とワークショップを交えた鑑賞会

ウ アウトリーチ事業



活動団体（文化芸術活動団体）を主催団体（学校等の教育施設、病院や福祉施設、商業施設等）に派遣し、ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業については、活動団体と地域文化会館が連携し、地域の文化芸術の振興に向けて取り組みました。呉竹文化センターでは、龍谷大学落語研究会が地域社会福祉協議会の主催する催しで公演を開催しました。また、右京ふれあい文化会館では、NEO吹奏楽団、吹奏楽団「雅」による地域児童館公演、京都大学落語研究会が、地域社会福祉協議会の主催する催しでの落語を披露するなど、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

（３）地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア 地域の教育機関との連携

京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携して才能ある若い世代を支援するため、西文化会館ウエスティで「ウエスティ音暦（おとごよみ）」２公演、北文化会館で「文化会館コンサート」１公演を開催しました。また、東部文化会館では、京都橘大学と連携し、文化芸術の振興に寄与する人材の育成を目的とした「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を引き続き実施しました。



イ 子どもを対象とした体験型事業



次世代の文化芸術活動を担う子どもたちが劇場という場を体験し、多様な芸術表現に触れ、豊かな感性と創造性を身につけるための事業として、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、右京ふれあい文化会館ではバックステージツアーを実施し、舞台音響・照明の操作体験を提供しました。

(4) 住民の文化芸術活動への支援型事業

ア 市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として、令和7年度も引き続き、北文化会館で「市民創造ステージⅠ・Ⅱ」を、東部文化会館では、地域との連携・協働による参加型事業として、地域のコーラスサークルによる発表や交流の場とする「第20回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」を開催しました。



イ 地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援



地域ネットワークを活用し、地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し、地域への活動情報の発信などを通じてアーティストの技術・芸術性向上への支援を行う西文化会館ウエスティの「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催しました。

ウ 地域における文化芸術の普及を支援

地域における文化芸術振興や地場産業の更なる活性化に寄与するため、右京ふれあい文化会館では、右京区の太秦に映画撮影所があることから、「京都・太秦キネマのまち」と題し、世紀の名優の映画として昭和30年代の日活青春映画の4作品「堂堂たる人生」「愛と死を見つめて」「あいつと私」「いつでも夢を」、日本映画界の巨匠小津安二郎監督の4作品「お早う」「東京物語」「彼岸花」「お茶漬けの味」の上映会をそれぞれ開催しました。



エ 創作文化活動の作品展示

賑わいスペースの創出として、東部文化会館では「ギャラリーエコム」、呉竹文化センターでは「くれたけミニギャラリー」、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ ギャラリー」、北文化会館では「KITABUNミニギャラリー」、右京ふれあい文化会館では「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催し、創作文化活動を行う、個人・団体に作品展示の場を無料で提供しました。

オ 舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の発表の場において芸術性や創造性を高めるため、公演やコンサートでの照明・音響演出、舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について、専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスをを行いました。

(5) 施設間の交流事業

ア 鑑賞型事業の実施

京都市交響楽団と連携し、文化会館5館において低料金で0才から入場できる「京都市交響楽団 ZERO歳からのみんなのコンサート2025」を開催し、乳幼児をもつ世代が子どもと一緒に、気兼ねなく生演奏に触れ、音楽を楽しむ機会を提供しました。また、呉竹文化センターでは、楽団員によるアンサンブル公演『オーボエの世界』ひとつの息から生まれる、多彩な音色』を開催しました。

イ 未就学児向けの公演の実施



ロームシアター京都との連携事業であるシアターデビュー促進プログラムでは、東部文化会館、西文化会館ウエスティの2館で海外からの招聘作品 Tiny Dancer 『Grow(グロウ)』 fromデンマークを各館でそれぞれ2公演開催し、呉竹文化センター、北文化会館、右京ふれあい文化会館では、こどもダンス

ワークショップ「オリジナルのボンネットをつくって、おどろう!」といったワークショップを3館でそれぞれ2講座を実施するなど、子どもたちの創造性を豊かにするとともに、親子で舞台芸術に触れる機会を提供しました。



ウ 京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都コンサートホールとの連携事業で京都市交響楽団の楽団員等が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」においては、音楽活動を充実させるため、練習会場として各地域文化会館を活用するとともに、右京ふれあい文化会館では、「ミュージック・サマー・コンサート」を開催し、活動内容の情報を発信するなど、若いオーケストラを支える環境づくりを行いました。

エ 京響コーラスの活動支援

京響コーラスの練習会場として文化会館での利用支援や練習公開を実施することで、京響コーラスのレベルアップと地域の文化振興を図りました。

文化会館における事業・公演数の変遷

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事 業 数	53 事業	45 事業	45 事業	45 事業
公 演 数	69 公演	55 公演	45 公演	54 公演
講 座 数	7 講座	5 講座	10 講座	16 講座

※上記の数にアウトリーチ事業は含まない。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度はうち1事業2公演、令和5年度はうち3事業3公演を中止。

2 地域文化芸術活動活性化協議会の開催

地域文化芸術活動活性化協議会からの助言や意見交換を行い、地域の文化芸術活動の活性化に向け、地域の文化芸術活動団体・個人と協同し、文化事業を実施しました。

※ 地域文化芸術活動活性化協議会とは

文化芸術活動団体、行政の代表者、教育機関の代表者などで構成され、地域ネットワークの構築、文化芸術の情報提供、アウトリーチ事業の開催協力、施設運営への助言や意見交換などを行うとともに、協議会の持つネットワークを活用し、文化芸術活動情報の受発信、事業の協働企画・開催など、地域文化会館が文化芸術の活動拠点として、より一層、地域における文化芸術の活性化を図るとともに、魅力ある地域のまちづくりに貢献するため、平成23年度から各地域文化会館に設置しています。

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業活動を強化するとともに割引制度による利用の促進を図りました。

東部文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入場者数（ホール）数値	42,127 名	33,661 名	37,154 名	42,636 名	44,196 名
利 用 料 金 収 入 額	30,775 千円	29,019 千円	27,458 千円	28,772 千円	31,029 千円
駐車場利用料金収入額	3,955 千円	3,354 千円	3,435 千円	3,651 千円	3,570 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	62 %	64 %	64 %	64 %	64 %
実 績 値	64 %	59 %	55 %	58 %	61 %
目 標 達 成 度	103.2 %	92.1 %	85.9 %	90.6 %	95.3 %

呉竹文化センター

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入場者数（ホール）数値	59,884 名	48,605 名	58,269 名	62,975 名	67,909 名
利 用 料 金 収 入 額	37,665 千円	40,093 千円	43,028 千円	45,431 千円	45,610 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	78 %	75 %	75 %	75 %	75 %
実 績 値	74 %	74 %	79 %	82 %	84 %
目 標 達 成 度	94.9 %	98.7 %	105.3 %	109.3 %	112.0 %

西文化会館ウエスティ

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入場者数（ホール）数値	34,678 名	26,337 名	27,058 名	25,457 名	29,810 名
利 用 料 金 収 入 額	31,098 千円	29,516 千円	27,746 千円	28,057 千円	30,160 千円
駐車場利用料金収入額	5,002 千円	4,238 千円	4,931 千円	5,018 千円	5,218 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	62 %	62 %	62 %	62 %	62 %
実 績 値	60 %	61 %	55 %	55 %	58 %
目 標 達 成 度	96.8 %	98.4 %	88.7 %	88.7 %	93.5 %

北文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入場者数（ホール）数値	35,666 名	29,168 名	32,590 名	34,147 名	36,900 名
利 用 料 金 収 入 額	38,125 千円	37,013 千円	38,345 千円	37,252 千円	39,848 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	80 %	80 %	80 %	80 %	80 %
実 績 値	77 %	77 %	75 %	74 %	78 %
目 標 達 成 度	96.3 %	96.3 %	93.8 %	92.5 %	97.5 %

右京ふれあい文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入場者数（ホール）数値	41,727 名	34,921 名	38,667 名	41,968 名	41,135 名
利 用 料 金 収 入 額	33,630 千円	35,827 千円	38,731 千円	41,545 千円	39,937 千円
駐車場利用料金収入額	4,285 千円	4,044 千円	5,429 千円	6,398 千円	5,294 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	76 %	69 %	69 %	69 %	69 %
実 績 値	69 %	71 %	64 %	70 %	64 %
目 標 達 成 度	90.8 %	102.9 %	92.8 %	101.4 %	92.8 %

（２）舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術、舞台音響、舞台照明等に関する企画業務を受託しました。これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し、利用者はもとより、観客に満足していただける舞台運営に努めました。

催し物の企画業務に関する受託状況

会 館 名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
右京ふれあい文化会館	4 件	バレエ発表会、学芸会等	71,500 円

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上会議（CS会議）の推進

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）会議等を開催しました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール 9 ページ参照

(3) 施設・設備の維持管理

各施設ともに、開館から数十年が経過しているため、施設の所有者である京都市による施設の改修及び修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

主な修繕事例（財団実施分）

会 館 名	修 繕 内 容
東 部 文 化 会 館	会議室1系統給水管漏水修繕
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	ガス吸収式冷温水発生機パラジウムセル修繕
西文化会館ウエスティ	ホール誘導灯修繕
北 文 化 会 館	親子室エアコン修繕
右京ふれあい文化会館	誘導灯取替修繕

3 利用促進のための取組

(1) 地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い、地域文化会館のホール利用を促進するため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）及びロームシアター京都（メインホール・サウスホール）、地域文化会館（ホール）のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は、通常利用料金の50％を割引く制度。

平日直前利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東 部 文 化 会 館	2 件	ダンス教室、学校関係等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	4 件	ダンス教室等
西文化会館ウエスティ	3 件	合唱団体、バレエ教室
北 文 化 会 館	0 件	—
右京ふれあい文化会館	10 件	音楽団体、演劇関係等
計	19 件	

イ 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、通常利用料金の15%を割引く制度。

平日連続区分利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東 部 文 化 会 館	43 件	幼稚園、保育園、学校関係等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	74 件	学校関係、幼稚園、演劇関係等
西文化会館ウエスティ	28 件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
北 文 化 会 館	45 件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
右京ふれあい文化会館	54 件	ダンス教室、バレエ教室等、音楽教室等
計	244 件	

■ ロームシアター京都

I 主催・共催事業〔39事業109公演15講座（うち中止1事業1公演）〕

ロームシアター京都は、リニューアルオープン以来掲げる「劇場文化をつくる」というコンセプトのもと、より一層、自主事業の推進に努めてまいりました。これまでと同様に、「つながり（交流）」を全事業の包含する要素として位置づけ、「つくり（創造）」、「育て（育成）」、「活かす（生活）」の有機的なサイクルを作り上げました。あわせて、賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により、賑わいの創出や文化芸術を身近に親しむための取組を行いました。

令和7年度のラインアップテーマは「つづきのはじまりはじまり」。リニューアルオープン10周年を迎えた令和8年1月10日・11日には、「プレイ！シアター for the 10th anniversary」として劇場のオープンデイを実施し、多くのお客様にご来場いただき、節目をともに祝いました。また、京都を拠点に活動するユニット「tupera tupera」が手掛けたメインビジュアルを公開し、令和8年度にかけ2箇年度にわたり＜10周年記念事業＞と冠した事業を展開中です。令和7年度は、これまでの積み重ねと未来が交差する場として、国内外のアーティストによる意欲的な取組が並びました。

1 主催・共催事業関連

（1）交流事業

海外アーティストによる上演、国際交流を促進する取組は、デンマーク、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、台湾などからの舞台が来日しました。第23回（2007年）京都賞受賞者で、32年ぶりの京都公演となったピナ・バウシュ／ヴッパタール舞踊団『Sweet Mambo』、台湾を拠点とし、中国語圏の最初のコンテンポラリーダンスカンパニーでもあるクラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集）『WAVES』といった、設立50年以上の実績を持ち、今なお世界の最前線で活動が続けるダンスカンパニーの作品を紹介することができました。



さらに、ダミアン・ジャレ×名和晃平『PLANET[wanderer]』など、世界水準の演目によって、「創造発信拠点」としての存在感を発揮しました。公演に付随し、ワークショップや、「放課後かんげきプログラム」（若年者向けの鑑賞機会提供）、作品解説プレトークなどを実施し、アーティストと市民との交流機会創出に努めました。また、KYOTO EXPERIMENT（京都国際舞台芸術祭）などの国内外の交流と地域の賑わいを創出する事業も好評裡の中、終了しました。

(2) 創造事業



ワーク・イン・プログレスを実施しました。

全国3つの公共劇場による全国共同制作オペラ 歌劇『愛の妙薬』では、京都に縁のある杉原邦生がオペラ初演出に挑み、「カワイイ」をキーワードに、祝祭感と多幸感あふれる作品を発表しました。

《継承と創造》シリーズでは、祝言の舞としても知られる「三番叟」を、狂言(能楽)、淡路人形芝居(人形浄瑠璃)、京舞(舞踊)、長唄(音曲)、早池峰岳神楽(神楽)と多様な芸能が一堂に会して「三番叟づくし」として一挙上演し、10周年にふさわしい公演となりました。

また、「レパトリーの創造」で製作・上演した市原佐都子／Q『キティ』(令和6年度製作)が3ヶ国(ベルギー、オーストリア、フランス)で、高谷史郎『Tangent(タンジェント)』(令和5年度製作)が中国・上海で、『ショールームダミーズ #4』(令和元年度製作)がドイツで、それぞれ招聘公演を行い、ロームシアター京都発のプロダクションを世界にも届けました。



(3) 育成事業



開館当初より継続する「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」の充実に加え、「劇場の学校」、「リサーチプログラム」、「舞台芸術プロデュース講座」などの次代を担う若者を育成する事業を行いました。また、京都芸術センターと協働して行う35歳以下のアーティストの創造支援プログラム「KIPPU」や京都市ユースサービス協会と連携する劇場の仕事体験「未来のわたしー劇場の仕事ー」によって、将来的な人材育成に寄与する事業も行いました。

(4) 生活事業

夏の「プレイ！シアター in Summer」、秋の「OKAZAKI PARK STAGE」と毎年好評の恒例イベントを中心に、子どもから大人まで劇場を満喫し、気軽に舞台芸術を体験できる催しを開催しました。また、地域文化会館と協働し、小さな子どもとその保護者

向けの公演やワークショップを実施し、生活と密着したプログラムを展開したほか、京都市立芸術大学と協働した、「ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らう会」を実施しました。地域の市民を対象にボランティアスタッフを募り、運営に参画いただき実施しました。これら劇場と生活を結びつける機会の創出を目指し、オープンスペースの活用、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に努めました。「となりの劇場」では、左京区社会福祉協議会と共同し、久多・花背地域でのシニア層を対象とした演劇アウトリーチ事業を実施しました。



【主な事業】

● 演劇

- ・第375回～第379回 市民寄席（第379回のみ〈10周年記念事業〉）
- ・第74回 京都薪能「洛中洛外幽玄紀行」
- ・サファリ・P 第11回公演『悪童日記』
- ・作：ピンク地底人3号 演出：生田みゆき『燃える花嫁』
- ・能楽チャリティ公演～祈りよとどけ、京都より～
- ・〈10周年連携事業〉ゆうめい10周年全国ツアー公演『養生』
- ・〈10周年記念事業〉シリーズ《継承と創造》「三番叟づくし」
- ・レパトリリーの創造 ホープス ワーク・イン・プロGRESS
アーティスト：西田悠哉（劇団不労社）、野村真人（レトロニム）
- ・『クワイエットルームにようこそ The Musical』
- ・〈10周年連携事業〉ニットキャップシアター『土曜日の過ごし方』
- ・〈10周年記念事業〉KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『未練の幽霊と怪物―「珊瑚」「円山町」―』

● 舞踊

- ・オランダ・日本 共同インテグレイテッドダンス公演『UNUM』 & 『Iungo』
- ・プレイ！シアター in Summer 2025 <ステージプログラム>
- ・〈10周年記念事業〉ダミアン・ジャレ×名和晃平『PLANET [wanderer]』
- ・〈10周年記念事業〉ピナ・バウシュ／ヴッパタール舞踊団『Sweet Mambo』
- ・〈10周年記念事業〉クラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集）『WAVES』

● 音楽

- ・ KYOTOPHONIE in collaboration with MODE
サウンドウォーク・コレクティヴ & パティ・スミス:CORRESPONDENCES
- ・ アンサンブル九条山コンサート vol.16
- ・ Sound Around 005 アーティスト：細井美裕
- ・ 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2025 歌劇『魔笛』
- ・ 〈10周年記念事業〉「饗宴！5台のピアノと5人のピアニスト」
- ・ 〈10周年記念事業〉2025年度全国共同制作オペラ 歌劇『愛の妙薬』
- ・ 〈10周年連携事業〉加藤訓子&中村恩恵『PSAPPHA（プサッファ）』
- ・ 京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバリー2025（第3・4回のみ〈10周年連携事業〉として開催）

● 総合／参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム

- ・ 京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2025
- ・ ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”
- ・ ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業
- ・ プレイ！シアター in Summer 2025 <オープンデイ>
- ・ 岡崎活性化事業 OKAZAKI PARK STAGE 2025
- ・ ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らう会
- ・ 舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ・ 劇場の学校
- ・ ホリデー・パフォーマンス Vol.18～Vol.20
- ・ いまを考えるトークVol.25～Vol.27
※Vol.27は、ロームシアター京都10周年・京都コンサートホール30周年記念事業として、小山田徹×藤原辰史×鷺田清一 クロストークを開催
- ・ 〈10周年記念事業〉プレイ！シアター for the 10th anniversary<オープンデイ>

2 賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、市民や観光客の皆様の憩いの場となるパークプラザを中心に、ブック&カフェ、レストラン、キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

令和7年度においても、ロームシアター京都が、舞台芸術のためだけでなく、より開かれた場として多くの方の交流の場となることを目指し、賑わいスペース事業者と連携し、生活文化等に関わる様々な文化イベントを57件実施しました。

なお、キオスクとして運営していた「ファミリーマート ロームシアター京都店」は、令和7年6月末に閉店し、自動販売機コーナーに変更しています。

事業内容	店舗名	営業時間※
ブック&カフェ (パークプラザ1階)	京都岡崎 蔦屋書店	午前10時から午後8時
	スターバックスコーヒー	午前8時から午後10時
レストラン (パークプラザ2階)	京都モダンテラス	午前11時から午後10時
キオスク (サウスホール1階ホワイエ内)	(～6月末) ファミリーマート (7/17～) 自動販売機コーナー	午前8時から午後8時
ギャラリー・ライブラリー (パークプラザ3階共通ロビー)	BOOK&ART GALLERIA	午前10時から午後5時 (開館時間等に応じて変更)

※臨時休館等により、変更の場合あり。

入店者数

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実 績 値	1,708,053 名	1,732,889 名	1,745,810 名	1,788,672 名	1,474,894 名

3 ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総体験施設「ミュージックサロン」(パークプラザ3階)を、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営しています。①音楽その他文化芸術に関する資料の展示、②コンサート等の文化芸術イベントの開催を中心としており、約5箇月間展示を実施しました。イベントに関しては、「劇場の音楽室」での授業(ロビーコンサート)を4回開催し、コンサート前には「公開リハーサル」を、公演後には演奏者との交流の場として「振り返りの会」を開催し、多くの方にご来場いただきました。



	事業日	事業名・内容等
1	7月16日(水)～ 9月7日(日)	【展示】 教科書の音楽を劇場で! 「劇場の音楽室」 「教室の思い出」をテーマに、教科書や貴重な音楽資料を展示
		「劇場の音楽室」での授業(ロビーコンサート) 「劇場の音楽室」の時間割 出演: 京都市立芸術大学音楽学部学生
1-1	7月19日(土)	①時間目 トルコ行進曲とトロンボーンの魅力 出演: トロンボーン四重奏 お話: 森田龍舞

1-2	8月19日（火）	②時間目 打楽器尽くしの学校の日 出演：打楽器トリオアンサンブル お話：荒川美玖
1-3	8月26日（火）	③時間目 夏と鳥とヴィヴァルディと 出演：弦楽アンサンブル お話：平野花実
1-4	9月2日（火）	④時間目 「朝」から晩まで世界旅行 出演：木管アンサンブル お話：三宅照久
2	9月12日（金）～ 12月7日（日）	【展示】 オペラの扉2025 ～ KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION ～ 舞台芸術の魔法。ファンタジーオペラ展 新国立劇場が制作したオペラの中でもファンタジー作品にスポットをあて、舞台写真や衣装、舞台装置模型を紹介。

来場者数

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実 績 値	9,440 名	2,970 名	3,366 名	6,058 名	6,576 名

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典、学会、講演会などの様々な利用があり、多くの方々にご来場いただくことができました。

多様な利用内容に伴う様々なニーズに応えられるよう、利用者やお客様のご案内、場内サービス、各種設備の運転等について、実際の利用状況や利用者からのご意見等を踏まえた改善を引き続き進め、安心、安全で快適な劇場空間の提供に努めました。

また、利用促進を図るため、特にサウスホールの平日利用に係る新たな割引制度を設け、運用を開始しました。

さらに、令和7年5月には、文化庁の京都移転を契機として始まった国内最大規模の音楽賞である「MUSIC AWARD JAPAN」授賞式及びライブパフォーマンスの第1回目が全館を使って開催され、大きな注目を集めました。

なお、10周年記念事業の一環として、期間中、共に10周年を盛り上げていただける施設利用者を対象に「10周年連携事業」として公募、38件の応募がありました。連携事業は引き続き募集中です。

実績1 利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	328,000 千円	339,994 千円	340,634 千円	360,314 千円	379,994 千円
実 績 値	333,812 千円	343,413 千円	339,363 千円	361,511 千円	400,526 千円
目 標 達 成 度	101.8 %	101.0 %	99.6 %	100.3 %	105.4 %

実績2 入場者数

区 分	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目 標 値	510,000 名	330,000 名	500,000 名	500,000 名	500,000 名
実 績 値	497,784 名	332,861 名	352,568 名	356,716 名	431,988 名
目 標 達 成 度	97.6 %	100.9 %	70.5 %	71.3 %	86.4 %

実績3 日数利用率

区 分		平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
メイン ホール	目 標 値	83 %	82 %	81 %	81 %	81 %
	実 績 値	81 %	82 %	77 %	77 %	81 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	100 %	95.1 %	95.1 %	100.0 %
サウス ホール	目 標 値	82 %	76 %	80 %	80 %	80 %
	実 績 値	80 %	73 %	79 %	74 %	74 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	96.1 %	98.8 %	92.5 %	92.5 %
ノース ホール	目 標 値	75 %	74 %	72 %	72 %	72 %
	実 績 値	72 %	78 %	78 %	73 %	79 %
	目 標 達 成 度	96.0 %	105.4 %	108.3 %	101.4 %	109.7 %

(2) MICE誘致に向けた関係機関との定期的な協議

多彩な文化・交流施設が集積し、国の「重要文化的景観」にも選定された岡崎エリアにおいて、より質の高いMICEの開催が可能となることを積極的にPRするとともに、MICE等の誘致・対応に向けて、京都市及び京都文化交流コンベンションビューロー、みやこめっせ、京都市京セラ美術館等との情報連携を強化し、様々なニーズに応えました。

(3) 岡崎公園の利用受付業務

ロームシアター京都に隣接する岡崎公園の利用受付等に関する業務を京都市より受託し、申請書の受付等の業務を行いました。

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上会議（CS会議）の推進

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）会議や、危機管理ミーティングを定期的に開催しました。

なお、令和8年2月に発生したローム・スクエアでの人命救助行為に対して、左京消防署から従事職員に感謝状が贈呈されました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール 9 ページ参照

(3) 賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し、日常的な施設運営に係る様々な情報共有を行い、サービスの向上に努めました。

(4) 施設管理体制の更なる強化

リニューアルオープンから10年を迎え、施設・設備も修繕や機器の取替えが必要となってきたことから、所有者である京都市による施設・設備の修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、修繕や機能向上に取り組みました。

主な修繕・機能向上等事例（財団実施分）

修 繕 ・ 機 能 向 上 内 容
サイネージモニター取替修繕
メインホールオペラカーテン修繕
エレベーター2・3・9号機部品取替修繕

(5) 視察・見学等への対応

行政・自治体、教育機関、他劇場関係者など、令和7年度は13件の視察・見学を受け入れました。施設や事業内容の紹介を通じて、当館の取組の発信と関係機関との新たな

接点づくりの機会となりました。また、京都市内の中学生による職場体験活動「生き方探求・チャレンジ体験」（京都市教育委員会）や、芸術文化観光専門職大学をはじめ、関西圏の大学生インターンの受け入れも行い、文化芸術の創作現場や、それらを支える劇場の仕事を体験し、理解を深める機会を提供しました。

3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

主催・共催ラインアップ・リーフレット、催物カレンダーの作成、ホームページやSNSの運用、賑わい事業者と連携した取組や、様々な広報媒体への働きかけ等により、効果的な情報提供及び話題作りを行い、劇場への期待感と施設の認知度向上に継続して取り組みました。

SNSの発信においては、FacebookやX（旧Twitter）を活用し、正確かつ効果的な情報提供に努めました。

（１）自主事業ラインアップ・リーフレットの発行

令和7年度においても引き続き、主催事業ラインアップを事業の趣旨に分類して紹介するレイアウトで構成し発行しました。

（２）催物カレンダーの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか、ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載したものを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



ア 主催事業ラインアップ・リーフレット



イ 催物カレンダー

（３）ホームページ等の充実

ホームページについては、アクセス分析等を踏まえ、来館者に向けたQ&Aの新設、視認性向上のための仕様変更、海外への展開が期待される演目紹介の英語ページ制作等を適宜実施しました。また、SNSの発信では、正確な情報を迅速に発信するとともに、施設全体に関する内容については劇場を身近に感じていただける発信を行い、事業に関する内容については関連情報の充実や出演者等のアカウントとの共同投稿を積極的に実施するなど、より効果的な広報に努めました。



(4) 電子チケットの運用及び利便性向上への取組【再掲】

京都コンサートホール 11ページ参照

(5) 施設の魅力発信等の取組

「ラブライブ！京都・大阪・神戸観光 空の旅！（日本航空株式会社）」や「歩いてたのしむ京都（京都市）」など企業・行政と連携した地域周遊型のコラボレーション企画、京都府立図書館や京都市動物園などの近隣施設と連携した展示を実施しました。さらに、「京都モダン建築祭2025」への参画や、建築展示「京都会館／ロームシアター京都 65年の記録」の実施を通じて、京都会館から続く建築的価値の発信にも取り組みました。

また、リニューアルオープン10周年の広報として、「tupera tupera」によるメインビジュアルを館内で原画展示するとともに、「プレイ！シアター for the 10th anniversary オープンデイ」のチラシや、市内全域の市政広報版に掲出するポスターにも同ビジュアルを用いるなど、効果的な広報を実施しました。



(6) 外部資金の獲得

自主事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業からの協賛金の獲得に努めました。

主な助成金獲得

助成元	事業名
(公財) ローム ミュージック ファンデーション	「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (劇場・音楽堂等機能強化総合支援 事業) (独) 日本芸術文化振興会	『燃える花嫁』、「劇場の学校」、 「プレイ！シアター in Summer 2025」 ほか * 令和6年度から5年間の継続支援

クリエイター支援基金 文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業） （独）日本芸術文化振興会	レパトリーの創造 ホープス 野村真人/西田悠哉 ＊令和6年度から3年間の継続支援
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 （共同制作支援事業） （独）日本芸術文化振興会	2025年度全国共同制作オペラ 歌劇「愛の妙薬」 ※幹事館：東京芸術劇場
舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流） （独）日本芸術文化振興会	レパトリー作品 「ショールームダミーズ #4」ベルリン公演

主な協賛金獲得

協賛元	事業名
ヴァンクリーフ&アーペル	ダミアン・ジャレ×名和晃平 『PLANET[wanderer]』
ローム（株）	「プレイ！シアター in Summer」 「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」
（公財）稲盛財団	ピナ・バウシュ／ヴッパタール舞踊団 『Sweet Mambo』
日東薬品工業ホールディングス（株）	「全国共同制作オペラ 歌劇『愛の妙薬』」
多数（提灯協賛）	「市民寄席」

4 各種会員制度の運営

（１）各種会員制度の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール 13 ページ参照

（２）賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール 14 ページ参照

5 施設運用の充実にに向けた取組

ロームシアター京都の中長期的なビジョンやミッションに対して助言をいただくことを目的として、文化政策や劇場管理、舞台芸術に携わる専門家等の外部委員で構成する「ロームシアター京都運営懇談会」を開催し、ロームシアター京都10周年記念事業や、劇場のミッション・ビジョンについて助言をいただきました。

また、舞台芸術全般に共通する課題等のトピックスを取り上げ、最新の事例を学ぶとともに関係団体との交流を図る「ロームシアター京都舞台芸術懇話会」においては、カスタマーハラスメントをテーマに開催しました。

■ 京都市交響楽団

I 主催・共催事業〔全25事業48公演〕

1 定期演奏会

本シーズンはテーマ「王道！斬新！」のもと、京響ならではの独自性あふれる演奏会を展開しました。

常任指揮者3年目となる沖澤のどかが6月、9月、3月公演を指揮し、3月では、モーツァルトの歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」を演奏会形式で上演するなど、いずれの公演も多くの方にご来場いただきました。また、首席客演指揮者2年目のヤン・ヴィレム・デ・フリーントが8月及び2月公演を指揮し、高い評価を得ました。

5月には第700回定期演奏会という節目を迎え、スイスの巨匠ハインツ・ホリガーと共に記念にふさわしい公演を開催しました。

そのほか、巨匠から実力派、新進気鋭の若手まで幅広く指揮者やソリストを招聘し、古典から近・現代まで多彩な楽曲を取り上げることで、芸術性豊かで充実した演奏をお届けしました。

また、従来のフライデー・ナイト・スペシャルを改め、2日公演開催月の金曜公演のプログラムを土曜公演と同一プログラムとし、また開演時間についても午後7時30分から午後7時に見直しを図り、聴衆拡大に努めました。



2 特別演奏会

恒例のスプリングコンサート、第九コンサート及びニューイヤーコンサートを開催し、充実した出演者と心躍る楽曲により、時節を彩る演奏をお届けしました。



3 特別演奏会（市外公演）

6月に大阪公演及び名古屋公演を、9月には隔年開催としている東京公演を開催しました。いずれも常任指揮者 沖澤のどかが指揮を務め、日本屈指の演奏力と評される京響の魅力を全国に発信するとともに、知名度や評価の更なる向上を図りました。



（名古屋公演（愛知県芸術劇場））



（東京公演（サントリーホール））

4 オーケストラ・ディスカバリー ～こどものためのオーケストラ入門～



ロームシアター京都を会場に「発見！メモリアルイヤーの作曲家」と題して、オーケストラやクラシック音楽が持つ魅力を名曲の演奏と楽しいお話を交えてお届けしました。

本公演（全4公演）は、定期演奏会の会員への導入コンサートとして位置付け、青少年の情操の向上や健全な心の育成を図るとともに、若い世代へのオーケストラの振興と普及を目的として開催し、将来のクラシック愛好家を育みました。

5 ZERO歳からのみんなのコンサート

地域文化会館を会場に低料金で0歳から入場できる全5公演の演奏会を開催しました。日頃クラシック音楽に触れる機会の少ない市民の皆様が生演奏を身近に楽しんでいただき、地域密着型のオーケストラとして、クラシック音楽の普及、クラシック音楽ファンの醸成、京響ファンの獲得を図りました。



6 70周年記念事業（プレ70周年）

令和8年度に創立70周年という節目を迎えるにあたり、これまで京響を支えてくださった皆様へ感謝と、未来への思いを込めて70周年記念事業を実施しました。

国内ツアーでは、沖澤のどか指揮のもと兵庫、東京（再掲）、福井、長野、八戸、青森の全6都市を巡り、合計9,131人のお客様にご来場いただきました。兵庫・東京・青森の3公演は完売となるなど、全国各地で京響の演奏力の高さを広く発信することができました。



（青森公演：リンクステーション青森） （福井公演：ハーモニーホールふくい）

アウトリーチ事業では、これまで京響を支えてくださった市民の皆様への感謝を込め、京都ならではの伝統文化・近現代文化を体現する趣のある空間でアンサンブル演奏をお届けする「京（みやこ）の音楽会」を開催しました。京都市役所正庁の間を皮切りに、西陣織会館など計4施設で実施しました。



（京都市役所正庁の間）



（西陣織会館）

7 ロームシアター京都及び地域文化会館との連携事業

芸術文化とのコラボレーションによる演奏会を開催し、オーケストラの生み出す新たな音楽世界の魅力を提供することにより、幅広いオーケストラファンの獲得を図りました。

8 ホールリハーサル公開

令和7年度から新たに開始した取組として、定期演奏会に先立ち、京都コンサートホールにおけるホールリハーサルの一部を一般公開しました。本番に向けた音楽づくりの過程を間近でご覧いただける機会として、計5回実施し、延べ1,189名の方にご来場いただきました。

この取組を通じて、市民の皆様にとって京都コンサートホールをより身近に感じていただくとともに、京響の演奏活動や音楽づくりへの理解を深めていただく機会の創出を図りました。

9 公演料金の改定

将来にわたり演奏のクオリティを向上・保持するとともに、持続可能で安定的な運営を確保するため、定期演奏会及び特別演奏会(第九、ニューイヤー)の公演料金を改定しました。併せて京響友の会割引率の引上げや新たな割引チケット(金曜ペアチケット、U30)の導入等メニューの充実を図ってまいりました。

	S席	A席	B席	C席	P席
旧	5,500円	5,000円	4,000円	3,000円	2,000円
新	6,000円	5,500円	4,500円	3,500円	3,000円

10 共催事業

京都市内の小学生を対象とした音楽鑑賞教室は5日間10公演を開催し、中学生対象については、2日間3公演を京都コンサートホールで実施いたしました。演奏を直接体感することで、子どもたちの音楽に対する理解と関心を深め、クラシック音楽の普及の促進や、新たなクラシックファン・京響ファンの獲得につなげました。

11 その他演奏会等

(1) 楽器講習会等

京都府吹奏楽連盟の協力のもと、中学生・高校生を対象に、京響メンバーが講師となり、楽器の実技指導や音楽全般に関する指導・助言を行いました。



(2) 京響コーラス

8月定期、3月定期、第九コンサート及び第4回オーケストラ・ディスカバリーの計4回の演奏会で京都市交響楽団と共演しました。

(3) 京都市ジュニアオーケストラ

8月のサマーコンサートと1月の定期コンサートに向けて、楽団員によるジュニアオーケストラメンバーへの直接指導を行いました。コンサートも含めた一連の活動を通して、若い演奏家たちに演奏技術の向上や文化芸術を通して相互理解を図る貴重な機会を提供するとともに、一般の方々に未来を担う若い世代の演奏を鑑賞する機会を提供しました。

(4) 派遣（アンサンブル）演奏

京都市会での演奏をはじめ、京都市が開催する行事や、企業・団体からの依頼に基づくイベント等において、少人数の編成での演奏を行い、新たなファンの獲得に向けた取組を行いました。



Ⅱ 京響友の会

令和7年度も「チケット会員」、「スポンサー会員」、「寄付会員」として、多くの方々にご入会いただきました。会員の皆様には友の会機関紙の送付に加え、定期演奏会等のチケットを割引価格で先行購入いただける案内や、会員限定の特別イベントの実施など、様々な特典をご提供しました。（京都コンサートホール 4 各種会員制度の運営 (1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組 14 ページ参照）

Ⅲ 受託事業

「京都南ロータリークラブ」、「京都商工会議所女性会」、「京響福山演奏会」、「兵庫・福井・長野・八戸・青森公演」（再掲）の実施など、京都市交響楽団の京都市外での知名度向上を図るとともに、より充実した主催事業の実施に向けた資金を獲得するため、びわ湖ホール主催のオペラをはじめ、計29事業45公演を受託しました。

Ⅳ 外部資金の獲得

自主事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、「京響友の会」の制度を活用した民間企業からの協賛金の獲得に努めました。（京都コンサートホール 4 各種会員制度の運営 (1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組 14 ページ参照）

主な助成金獲得

助成元	事業名
文化庁、(独) 日本芸術文化振興会	定期演奏会、オーケストラ・ディスカバリー、スプリング・コンサート、名古屋公演・東京公演
(公財) アフィニス文化財団	第709回定期演奏会
(公財) 三菱UFJ信託芸術文化財団	第709回定期演奏会

主な協賛金獲得

協賛元	事業名
ローム（株）	東京公演
Noster（株）	Z E R O歳からのみんなのコンサート2025
コミュニティ・バンク京信	第700回定期演奏会

■ その他

I 組織人員体制・配置等の最適化

管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに、「中期経営計画2025」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホール及び地域文化会館は、指定管理者としての3年度目、ロームシアター京都については、8年間の指定管理者として後期期間の3年度目となるに当たり、より適切な施設管理及び安定的な運営が推進できる体制を整えました。

組織体制を見直し、全体として効率化を図るとともに、施設間、所属間、所属内の連携をより一層高め、財団全体としての能力を最大限発揮できるよう、体制整備を行いました。

1 組織運営

以下の会議の定例的な開催により、京都コンサートホール、地域文化会館、ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し、貸館業務、施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた主催事業の展開等について検討しました。

＜定例的に開催した主要な会議＞

財団定例会、コンサートホール連絡会議、文化会館運営会議、ロームシアター京都定例会、京都市交響楽団定例会

2 人事異動

令和7年4月1日付けで総数36名の人事異動を行いました。

財団職員数の推移

職 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般職員（総合職）	49 名	44 名	43 名	50 名
一般職員（楽団職）	81 名	83 名	83 名	82 名
嘱 託 職 員	51 名	53 名	60 名	50 名
市からの出向職員	6 名	6 名	6 名	6 名
計	187 名	186 名	192 名	188 名

※各年度すべて4月1日現在の人数。

※一般職員（楽団職）については、定年再雇用楽団職員含む。

財団役職別職員数の推移

職 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
局 長 級	3 名	3 名	2 名	2 名
部 長 級	4 名	3 名	4 名	4 名
課 長 級	18 名	15 名	16 名	14 名
係 長 級	13 名	10 名	9 名	13 名
リ ー ダ ー (主 任)	13 名	14 名	15 名	15 名
職 員	55 名	58 名	63 名	58 名
音 楽 ス タ ッ フ	3 名	3 名	4 名	4 名
楽 団 員	80 名	80 名	79 名	78 名
計	187 名	186 名	192 名	188 名

Ⅱ 働きやすい職場づくりの推進

これまでの人事給与制度の運用を安定的に行うとともに、年次有給休暇の取得の促進や時間外労働の抑制を行うなど、どのような雇用形態の職員にとっても働きやすい職場環境づくりに努めました。

Ⅲ 人材育成・職員研修・内部監査

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

令和7年度は以下のとおり様々な研修を実施し、各職員のスキルアップや意識の改革をはかる機会を設けました。

また、各施設において消防訓練の実施など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

さらに、適正な会計事務の継続及び定着を目指すため、内部監査として「会計事務の実地検査」を7所属に対して実施し、会計事務の適正化に一層取り組みました。

研修内容

研 修 名	接遇マナー研修
実 施 日	令和7年7月15日（火）
受 講 人 数	57名
会 場	京都市北文化会館 創造活動室

研 修 名	経理研修
実 施 日	令和7年9月2日（火）
受 講 人 数	32名
会 場	京都コンサートホール 大ホール舞台上

研 修 名	外部研修
実 施 日	令和7年9月18日（木）ほか
受 講 人 数	11名
研 修 内 容	「財務会計基礎研修」 ほか 主催 京都市 「会計セミナー」 主催 公益財団法人公益法人協会 「チームマネジメント研修」 「リーダーコミュニケーション研修」 「コンテンツマーケティング研修」 ほか 主催 株式会社インソース

IV 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、令和7年1月に継続認証を取得しました。

また、エネルギー削減を行うため、施設内の適正冷暖房の設定及び不必要な電灯の消灯等の取組を徹底してまいりました。

V ファンドレイジング及びICT環境整備による財務の合理化の推進

より安定的な財源の確保を目指して、公的、民間を問わず外部資金の獲得の強化に努めました。

また、ICTの活用により、顧客サービスの向上と事務作業の負担軽減の両立を目指し、財務の合理化の推進に取り組みました。

VI 中期経営計画及び京都市交響楽団ビジョンの進捗管理

「中期経営計画2025」に基づき、計画に掲げる5つの経営方針の推進に取り組みました。「中期経営計画2025」の計画期間が令和7年度までであることから、引き続き、財団の使命を果たし存在価値を高めていくことを目的として、新たに「中期経営計画2029」（計画期間：令和8～11年度）を策定しました。また、「京響ビジョン」の5つの戦略の推進に向けて、京都市との協議・連携のもと、財政・人的支援の確保を行い、京都市交響楽団の安定的な運営の実現に向け取組を進めてまいりました。

VII 庶務報告

1 役員会の開催

令和7年度は、次のとおり理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

（1）第1回理事会 令和7年5月19日

- ＜議案＞
- ・令和6年度事業報告について
 - ・令和6年度特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の保有について
 - ・令和6年度補正予算について

- ・令和6年度決算について
- ・令和7年度補正予算について
- ・令和8年度主要事業計画（ロームシアター京都及び京都市交響楽団）について
- ・令和7年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
- ・一般社団法人KYOTO EXPERIMENTへの債務保証について

＜報告＞ ・「京響友の会」元会員から提起された訴訟について

（2）第1回評議員会 令和7年6月3日

- ＜議案＞
- ・令和6年度事業報告について
 - ・令和6年度決算について
 - ・理事、監事及び評議員の辞任について
 - ・理事の選任について
 - ・監事の選任について
 - ・評議員の選任について

＜報告＞ ・京都コンサートホール魅力向上事業（大規模改修基本設計）について

（3）第2回理事会 令和7年6月4日

（書面評決）

＜議案＞ ・顧問の選任について

（4）第3回理事会 令和7年11月11日

- ＜議案＞ ・令和8年度主要事業計画について
- ＜報告＞ ・中期経営計画2029（仮称）の策定について
- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

（5）第4回理事会 令和8年3月16日

- ＜議案＞
- ・中期経営計画2029の策定について
 - ・令和8年度事業計画について
 - ・令和8年度収支予算について
- ＜報告＞ ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

（6）第5回理事会 令和8年3月31日

（書面評決）

＜議案＞ ・事務局長の任命について

2 役員の異動

ア 理事の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
井 垣 勉	オムロン株式会社執行役員常務 グローバルコーポレートコミュニケーション &エンゲージメント本部長兼サステナビリティ推進担当	令和7年6月3日
野 口 穂 高	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	令和7年6月3日

イ 理事の辞任

氏 名	役 職（退任日現在）	辞 任 日
染 川 里 美	オムロン株式会社取締役室副室長	令和7年6月3日
平 賀 徹 也	前京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	令和7年6月3日

ウ 評議員の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
小 山 田 徹	京都市立芸術大学学長	令和7年6月3日
中 村 真由美	京都商工会議所女性会会長	令和7年6月3日
山 本 浩 史	ローム株式会社取締役上席執行役員	令和7年6月3日
平 賀 徹 也	京都市文化芸術政策監	令和7年6月3日

エ 評議員の辞任

氏 名	役 職（退任日現在）	辞 任 日
赤 松 玉 女	前京都市立芸術大学学長	令和7年6月3日
葛 城 万寿子	前京都商工会議所女性会会長	令和7年6月3日
松 本 功	ローム株式会社相談役	令和7年6月3日
山 本 ひとみ	前京都市文化芸術政策監	令和7年6月3日

オ 監事の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
市 田 香	京都市文化市民局文化市民部長	令和7年6月3日

カ 監事の辞任

氏 名	役 職（退任日現在）	辞 任 日
津 嶋 俊 郎	前京都市文化市民局くらし安全推進部長	令和7年6月3日

3 登記事項

(1) 第1回評議員会による理事及び評議員の変更

氏 名					登 記 日
評 議 員	小 山 田	徹			令和7年6月3日
評 議 員	中 村	真由美			
評 議 員	山 本	浩 史			
評 議 員	平 賀	徹 也			
理 事	井 垣	勉			
理 事	野 口	穂 高			
監 事	市 田	香			

VIII 会議等への参画による情報収集

下記の会議等に参画することで、事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報収集を行いました。

該当施設等	会 議 等
京都コンサートホール	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	コンサートホール企画連絡会議
	劇場、音楽堂等連絡協議会
ロームシアター京都	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	劇場、音楽堂等連絡協議会
	公共劇場舞台技術者連絡会
京 都 市 交 響 楽 団	公益社団法人日本オーケストラ連盟
総 務 部	大都市文化振興財団等連絡会

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として、主に来館者向け駐車場を運営しました。

会 館 名	駐車可能台数	収入金額
京都コンサートホール	100 台	16,313,580 円
東 部 文 化 会 館	37 台	3,570,000 円
西文化会館ウエスティ	53 台	5,218,300 円
右京ふれあい文化会館	67 台	5,293,700 円
計	257 台	30,395,580 円

2 オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ（16種類）、音楽に関連したグッズ（30種類）、ロームシアター京都オリジナルグッズ（2種類）及び京響オリジナルグッズ（12種類）を販売しました。

項 目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	1,703,374 円
ロームシアター京都グッズ収入	511,651 円
プログラム等販売収入	968,400 円
京響オリジナルグッズ収入	3,367,185 円
計	6,550,610 円

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

入場券販売業務受託状況

会 館 名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	162 件	23,443,967 円
東 部 文 化 会 館	0 件	0 円
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	7 件	99,930 円
西文化会館ウエスティ	0 件	0 円
北 文 化 会 館	14 件	66,700 円
右京ふれあい文化会館	2 件	24,120 円
ロームシアター京都	111 件	10,008,621 円
計	296 件	33,643,338 円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホール等に設置された自動販売機の管理運営を行いました。

会 館 名	収入金額
京都コンサートホール	21,833 円
ロームシアター京都	501,600 円
計	523,433 円

5 レンタルロッカーの運営（地域文化会館）

定期的に施設を利用いただく利用者をはじめとした、利用者サービスの向上を目的として、施設利用の際に使用する道具類を施設内に保管するための「レンタルロッカー」の運営を実施しました。

レンタルロッカー利用の収入額

施 設	収入金額
東部文化会館	11,000円
呉竹文化センター	11,000円
西文化会館ウエスティ	22,000円
北文化会館	33,000円
右京ふれあい文化会館	11,000円
計	88,000円

